

ラベルプリンター導入事例

野水鋼業株式会社様

受注管理から出荷まで
各種プリンターと連携

製造



事業
内容

ステンレス鋼材販売、特殊鋼及び
非鉄金属各種鋼材販売

導入
目的

出荷指示書、現品票の発行

導入
機種

TD-4550DNWB 22台、
HL-L6400DW 2台、
MFC-L5755DW 3台

■会社概要

設 立	1956年6月11日
代 表 者	代表取締役 野水 俊明
従 業 員 数	63名
本 社	千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷4-1-1
U R L	https:// http://www.39nomizu.co.jp/

出荷指示書/現品票ラベルをインラインで印刷。 日当たり約20kmの移動距離を削減!

! プラザー製品導入の背景

事務所にプリンターが1台しかなく、
出荷指示書や現品票の現場までの
運搬距離が長いため効率が悪かった。

- 事務所にプリンターが1台しかない
- 事務所と商品センターとの行き来が多い
- 現品票は仕分けてクリップ止め

元々出荷指示書は事務所で発行され、商品センター内各所へ人が運んでおり、作業が終わった指示書を事務所へ戻すのも人が運んでいた。また、現品票は指示書と同じタイミングで事務所に発行されたものを、事務所で該当の指示書にクリップ止めていた。どちらも非常に手間が掛かっており、特に指示書運びは2日でフルマラソンに相当する距離を歩くほどで現場担当者の大きな負担になっていた。



! プラザー製品を選択した理由

課題を解決するための機能が
全て備わっており、且つコスト
パフォーマンスに優れていた。

- 課題解決のための機能が備わっていた
- 導入しやすい製品コストとランニングコストが抑えられる

課題となっていた発行した帳票を持ち運ぶ作業の効率化を図る上で、導入コストとランニングコストを抑えることはもちろん、今回必要としていた機能がプラザーの複合機とラベルプリンターには備わっていた。特に、作業指示書を現場でスキャンし、事務所へプリントするということが実現できたことが導入の決め手だった。コスト面ではトナーとドラムが別体になっているため、ランニングコストを抑えることにも期待ができた。ラベルプリンターに関してはヘッド交換も簡単にできるため、予備で部品を用意すれば不具合対応もすぐに対応できるという点も作業の安定稼働のためには重要な要素だった。



! プラザー製品導入後の成果

帳票の発行作業に時間を取られる
ことがなくなり、本来の商品出荷
作業に集中することができた

- 指示書のやりとりは全て複合機
- 必要な時に必要な枚数を現場で発行

商品センターに設置した複合機に発行された作業指示書を、作業担当者が直接手にし、作業指示書に印刷されたQRコードを読み取ることで作業担当者が自分のタイミングで必要な枚数の現品票をラベルプリンターより発行している。作業完了後には納品書発行の為、複合機からスキャナーで事務所へ直接指示書をプリントできるようになり移動の手間が省け、タイムラグもなくなった。移動の機会が激減したことで本来の作業に集中できるようになり、とても楽になったと好評。



ご購入いただいた
代表的機種

TD-4550DNWB

MFC-L5755DW

有線/Wi-Fi®/Bluetooth®対応。オートカッター・液晶付
フラッグシップモデル。ラベル幅4インチ対応の感熱ラベルプリンター。

低ランニングコストで高速プリント、ハイスペック・モノクロ複合機。

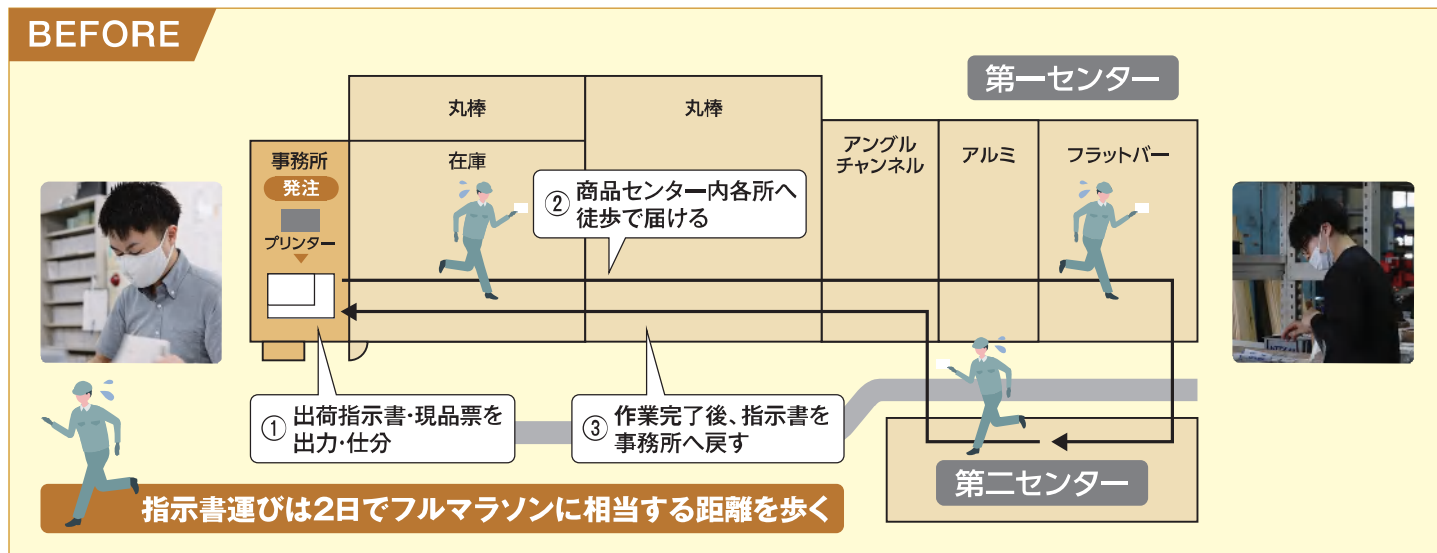


TD-4550DNWB



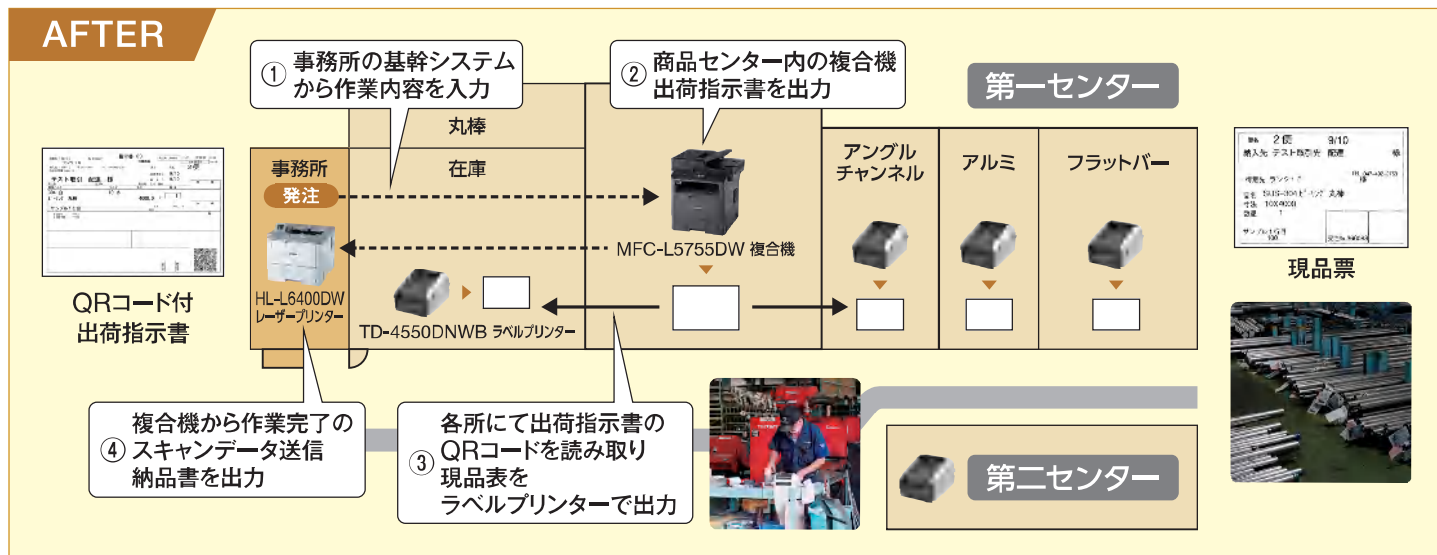
MFC-L5755DW

BEFORE



▼ 複合機・ラベルプリンターの導入で事務所間移動がなくなり、作業効率が大幅に改善

AFTER



■お客様の声

2日でフルマラソンに相当する距離の移動が、大幅に改善されました。

野水鋼業株式会社
代表取締役 | 野水 俊明 様
取締役 商品部長 | 大塚 祐司 様



「当日受注、当日出荷」を原則とした即納体制をとっています。短納期と言うと切断機の台数や性能が目立りますが、それ以外の部分での時間短縮も大切です。今回、作業指示書を工場に直接出力するように変更したことで、切断開始までの時間を短縮することができました。

帳票の発行作業を事務所にある1台のプリンターからではなく、商品があるその場で出せるようになったことで、2日でフルマラソンに相当する移動距離が大幅に改善することができました。

導入事例紹介サイト



ブラザー製品により、さまざまな課題を解決し業務改善に成功された事例の数々をご紹介します。
<https://www.brother.co.jp/product/biz/business-navi/case/index.aspx>

このカタログの掲載商品、並びに内容についての詳しいことは、お近くの販売店でご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、下記ブラザーコールセンターにおたずねください。



ブラザー販売株式会社
<https://www.brother.co.jp/>

〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

ブラザーコールセンター
<https://www.brother.co.jp/support/>
電話番号:0570-061030

受付時間:9:00~12:00/13:00~17:00(月~金)

*土日祝・弊社指定休日を除きます。コールセンターの電話番号・受付時間を変更する場合は弊社Webサイトにてご連絡します。

■お買い求め、ご相談は、

このカタログの内容は、2022年10月現在のものです。